

## インドの歴史（古代3？中世？）

前号ではマウリヤ朝を代表するアショーカ王について記したが、同朝が紀元前 2 世紀後半に滅亡した後、中央アジアの大月氏から自立したクシャーナ朝が 1 世紀後半インダス川流域に進出し、プルシャプラ（ペシャーワル）を都として 2 世紀のカニシカ王（カニシュカ王）のもとで最盛期を迎えました。この王朝は、中国とペルシア、ローマをむすぶ内陸の要地を抑えており、「文明の十字路」としての役割を果たしました。この頃、仏教文化とギリシア美術が結びつきガンダーラ美術が成立しました。クシャーナ朝は、3 世紀にサーサーン朝ペルシアのシャープール 1 世による遠征を受けて衰退し、滅亡へと至りました。



ガンダーラの仏塔  
(2 世紀)

その領域は南はガンジス川の中流域におよび、北は中央アジアで後漢と接していました。また首都をガンダーラ地方のプルシャプラ（現ペシャーワル）におき、漢とローマを結ぶ交通路の中央を押さえて経済的にも栄えました。クシャーナ朝が発行した大量の金貨は、ローマ貨幣と同じ重量基準でつくられています。カニシカの家系はゾロアスター教を信奉していましたが、彼はまたアショーカ王とならぶ仏教の保護者としても知られ、その治世に第 4 回の仏教結集がおこなわれました。

カニシカの貨幣には仏像やギリシア・ローマの諸神、ゾロアスター教・ヒンドゥー教の諸神の像がうちだされており、この王が宗教的に寛大で、諸民族・諸文化の混在する大帝国をたくみに統治したことが読み取れます。

この頃、南インドではデカン高原のサータヴァーハナ朝（アーンドラ朝）をはじめとする諸王朝がローマ帝国など西方との季節風貿易で繁栄しました。南インドではローマ帝国時代の金貨が大量に出土しており、当時の交易がきわめて活発だったことを裏付けています。インドからは綿織物や胡椒が輸出されました。この頃はまた、北インドのバラモン文化が南インドにもたらされ、仏教が広がっていった時期でもありました。

インド二大叙事詩『マハーバーラタ』と『ラーマヤナ』がかたちづくられたのもこの時代でした。マハーバーラタは史上最大の規模をもつ壮大な叙事詩であり、ともに後世のインドのみならず東南アジアにも広がって多大な影響をあたえました。ここでは、ヴェーダの神々への信仰は衰え、シヴァ、ヴィシュヌ、クリシュナなどの神々が讃えられています。ダルマ・シャストラで最も重要なものとされる『マヌ法典』は 2 世紀ころまでに成立したとみられ、バラモンの特権的地位を規定したほか、4 ヴァルナの秩序が定められました。現代のインド人の生活のみならず、その精神にまで深く根ざしており、その影響力は計り知れません。

4 世紀から 5 世紀にかけてのこの時代は、インド古典文化の黄金時代とされ、仏教教団も勢力を保ち、アジャンター石窟寺院やエローラ石窟寺院などにおいて優れた仏教美術が生み出されました。また、5 世紀にはナーランダ僧院が建てられ、インドはもとより東南アジアやチベットなどの各地から多数の学僧を集めて教典研究が進められました。

医学・天文学・数学なども発展した。「ゼロ」を発見したのも、古代インド人だといわれています。こうしたなかで職能集団が形成され、それぞれ世襲化されるようになり、今日のカーストにつながる「ジャーティ」と呼ばれる集団単位が成立していったとみられます。

ここで微妙な表題の表記について少し触れておきます。一般的に世界史では【古代】BC35～AC5【中世】AC5～AC15【近世】AC15～といった区分けがされていますが、本号ではこの古代の終わりから中世を極めてざっくりと記載しています。次号は 1498 年にヴァスコ・ダ・ガマがカリカット（コーリコード）へ来訪以降【近世】を概括してみたいと思います。

# やりきった学習発表会



3年ぶりに対面で行うことができた学習発表会。多くの保護者、来賓の方に見ていただく中で子ども達は練習以上の力を発揮することができたと思います。子ども達はオンラインでは感じる事ができない緊張感はもちろん、仲間と一緒に何かを創り上げる喜びを感じる事ができたのではないのでしょうか。

何度も何度も練習を重ねる中で、「英語が難しい」「振りが覚えられない」など弱音を吐いてしまう子もいました。それでも繰り返す中で自信を付けたり、仲間に励まされたりしながら成長し、『できた!!』と言えるようになりました。こうした学びは行事でしかできないものであり、とっても大切なことを学んで成長できたと思います。

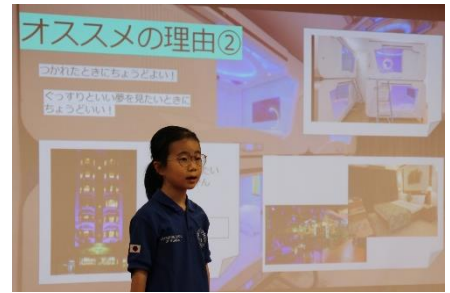
本番が終わった後の子ども達のあの清々しい顔が全てを物語っていると思います。こうして無事開催できたことに感謝し、また次のステップへとみんなでレベルアップしていきたいと思います。



↑誰がどの神様を演じていたか分かりましたか😊?



↑大きな声！ジェスチャーもGOOD👍



↑一人一人がおすすめポイントを分かりやすく話せました😊♪



↑英語も衣装もバッチリ😊自分たちも楽しみながら発表することができたと思います。子ども達の英語力すごい！！



自信をもって人前で話せるようになるのはとっても大変なことです。誰もが初めは苦手と覚えることでもあります。でも、どんなことも繰り返すことが大切！きっとこの経験はこれからの生活にも生きてくると思います😊

1学期から何度も何度も練習してきたロックソーランも迫力満点の演技ができました。気合のこもった掛け声で会場が震えました！！



2学期から急に覚えたり、動いたりする量が増えていき、同学年以外の子とも話をしたり、協力したりすることが増えていきました。なので自然とみんなが仲良くもなり、学校全体が活気づいたように思います。学習発表会を通してできたこの良い雰囲気のまま、残りの数か月もみんなで走り抜けていきたいです。 中村光凜

やりきったぞ～😊！